

## 【特別支援学校のセンター的機能】

### ～しろがね分校による地域支援～

しろがね分校では専門アドバイザーが中心となり、前橋市・玉村町・渋川市・吉岡町・榛東村の小学校・中学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者に来校していただいたりして、発達気になる子供達についての継続的な支援を行っています。

### 6月30日現在の相談依頼の件数(外部支援)

対象	幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他	計
件数	58件	51件	19件	10件	138件

(その他は保護者や関係機関からの相談)

その他 前橋市内小学校にて講演会を実施(6/23)  
特別支援学校にて研修会のポスター発表実施(6/28)

専門アドバイザーの仕事を紹介します。



中学1年生のA君です。通常学級に在籍しています。

担任の先生からは学力が低く、授業中の姿勢が悪い、授業に取り組まない(板書も写さない)、反抗的であるという相談を受けました。

そこで、A君を参観したところ、板書を写し、教師の指示を聞いて課題に取り組んだ授業と、全く指示に従わず、何もしない授業の2つがあることが分かりました。

これはいったいどういうことでしょうか？

もちろん、子どもによって、得意な教科、不得意な教科はあると思いますが、A君の場合は学力面で厳しいため、得意不得意の理由ではありません。

中学校は教科担任制のため、先生によって、対応が違うのです。そこで、A君が学習に取り組んだ対応と、そうでなかった対応を比較してみます。

○A君が学習に取り組んだ対応

- ・担任の先生、あるいは介助の先生が頻繁に机間巡視を行い、「ここ、やっ  
てごらん」と声をかけ、生徒が一問解き終わるまで教えていた。

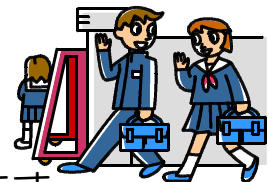
- ・「黒板写してごらん」と黒板を指さし、書いたかどうか、3分以内に確認にきて、「もう少し」と励ましの声をかけていた。
- ・プリント課題が難しかったら、教科書の場所や資料集のヒントなる部分や公式が載っている部分を提示し、写すように指示していた。
- ・少しでも取り組んでいたら、「いいね」と褒めていた。
- ・個別に声をかける担任の先生や介助の先生が笑顔で近づいていた。
- ・読むのは苦手でないので、読みの場面で生徒を指名していた。
- ・机間巡視で個別に指示した後、正解まで導けたら、指名して答えを発表させていた。
- ・学習の姿勢や手悪さなどは友だちに迷惑をかけない限り、見逃していた。

#### ○A君が学習に取り組まなかった対応

- ・「鉛筆を出しなさい」「教科書を開けなさい」「姿勢」など、注意のみであった。
- ・「写しなさい」と指示したのみで、どこを写すかを明確にしていなかった。
- ・「写しなさい」「書きなさい」と指示しただけで、次の生徒の指導に移ってしまった。
- ・授業中、一回も個別に声をかけなかった。
- ・一斉指導の中で、個人名を出して生徒を叱っていた。

いかがでしょうか？支援の仕方、生徒のやる気も違いますね。参考に見てみてください。

小・中学校の先生方、保育園・幼稚園の先生方、気になる子がいる、あるいは、もっと良い指導法をお探しでしたら、気軽にご連絡下さい。障害の有無に関係なく、専門アドバイザーが定期的に訪問いたします。一度、試してみませんか。



また、文科省の事業による、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の同行訪問も行っております。姿勢がおかしい・不器用である・言葉が不明瞭・食べ方が気になる等の相談がありましたら、遠慮なくお知らせ下さい。

渡良瀬養護学校しろがね分校

専門アドバイザー 尾岸純子

電話 027-268-6111

FAX 027-268-6113